

In April 2022, Osaka City University and Osaka Prefecture University merge to Osaka Metropolitan University

Title	先端的都市研究ブックレットシリーズの 刊行に寄せて / 目次
Author	阿部 昌樹
Citation	URP「先端的都市研究」シリーズ. 27 巻
Published	2021-03-15
ISBN	978-4-904010-42-6
Type	Others
Textversion	Publisher
Publisher	大阪市立大学都市研究プラザ
Description	分極化する都市におけるサービスハブの 変容とイノベーションの力学：ウィー ン・大阪から学ぶ
DOI	

Placed on: Osaka City University

Osaka Metropolitan University

URP 先端的都市研究シリーズ 27

**分極化する都市におけるサービスハブの
変容とイノベーションの力学
ウィーン・大阪から学ぶ**

キーナー ヨハネス・水内 俊雄 編

先端的都市研究ブックレットシリーズの刊行に寄せて

本シリーズは、大阪市立大学都市研究プラザを拠点として取り組まれてきた先端的都市研究の成果や、それを踏まえた教育実践の成果を、多くの人々に共有していただくことを目的として刊行するものである。

都市研究プラザは、大阪市立大学が創設以来蓄積してきた「都市研究」の実績をもとに、2006年4月に開設された。「プラザ」という名称を付したのは、研究者だけではなく、都市において様々なまちづくりの実践に取り組む人々もそこに集い、相互に刺激を与え合い、新たなアイデアを産み出すことができるような「広場」としての役割を果たしていきたいと考えてのことであった。

その後、2007年度には、文部科学省が、我が国の大学の教育研究機能の一層の充実・強化を図り、世界最高水準の研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図るため、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し、もって、国際競争力ある大学づくりを推進することを目的として創設した、グローバル COE プログラムの拠点のひとつに選ばれた。そして、2007年度から2011年度までの5年間、文部科学省の財政的支援の下に、「文化創造と社会的包摂に向けた都市の再構築」をテーマとする研究拠点形成推進事業に取り組んだ。その成果を受け継いでさらに、2014年度には、文部科学大臣より「共同利用・共同研究拠点」としての認定を受けた。現在は、この認定を踏まえて、「先端的都市研究拠点」という名称を掲げ、全国の関連研究者のコミュニティが都市研究プラザを拠点として、大阪市立大学がこれまで蓄積してきた都市研究の知的リソースや人的・組織的ネットワークを活用し、最先端の都市研究に取り組んでいただけるよう、そのための基盤整備に努めているところである。

その一方で、研究者とまちづくりの実践に取り組む人々がともに集うことができる「広場」でありたいという都市研究プラザ創設の理念もまた、この間一貫して維持されてきた。この理念に基づく研究者とまちづくりの実践者との協働は、大阪市立大学のキャンパスにおいてのみならず、「現場プラザ」と名付けられたサテライト施設においても多彩に展開され、様々な成果を挙げている。また、ソウル、台北、香港、バンコク、ジョクジャカルタ等の海外の諸都市に設

立した海外センターや海外オフィスを拠点として、それらの諸都市を基盤として活動する研究者やNPO等との協働にも取り組んでいる。

社会に開かれた「広場」において、まちづくりの実践から学び、その成果をまちづくりの実践へと還元していくような研究を継続していくことこそが、大阪市立大学都市研究プラザが目指すところである。本シリーズの刊行も、そうした目的を実現するための取り組みのひとつである。本シリーズが、大阪のみならず全国各地において、まちづくりの実践に活かしていただけたならば、これに優る喜びはない。

大阪市立大学都市研究プラザ所長

阿部 昌樹

目次

第1章	ホームレス・アサイラムからハウジング・ファースト ウィーン市におけるホームレス政策の発展 キーナー ヨハネス	1
第2章	ウィーンという居住ワンダーランドの裏面と居住包摂の処方としての 「ハウジング・ファースト」 ローアアウアー ベルント	17
第3章	ジェントリフィケーションはウィーンに存在するか？ ローカルな住宅市場政策の役割 フランツ イヴォンヌ	45
第4章	市民権から「市」民権へ ヨーロッパの都市から見たソーシャルイノベーション カゼポフ ユリ	75
第5章	生活保護施設／あいりん体制を大阪市北部のサービスハブ地域から見る —1970年代前半から2010年代までを回顧して— 奥村 健・岡本友晴・水内俊雄	105
第6章	コロナ禍における生活困窮者自立支援現場の激変 —「基底のセーフティネット」としての役割の変化を予見する— 水内俊雄・寺谷裕紀	137